東京松茶撰
赤穂義士百題

松翁

八巢居年木庵選

古今五百題

企

天湖載地 寿玉 人文集

雷分

松柏 寿百 已幸 遊歌 一位

元日

元日毎二百年賀意
元和四年 紙衾 原川
元日夕雪 重菓
元日の西角なれば 流山 菓耕
西角のかみて 信大侯 大菓
芝神の歌井
菓水 清き小水の岩の
月の水のまゝゆき 与信丁 松曉
菓水 元玉川 井の 下サカマ 花遊
小松 小松 玉佐の絵ふりを出の
東 東この年ふりよの知小松ふるひ 林町 柳水
寄森 隅 持ち利 松の内
松の間 松の岩くさ あつて松の間 西国 寿

初暦　福菓　七種　菊　菓菜

初暦　きさらぎ　ふみ　ぬりの　屏風　林丁　紙屋　物屋

福菓　ふくくわし　ふくくわし　麻布　仲四　喜二

七種　ぬりもの　七種　ぬりもの　乙内

七種　きさらぎ　ふみ　紙屋　山新

菊　菊　菊　菊　白銀　己幸

菓菜　菓菜　菓菜　菓菜　下サワカマ　遊歌　武イナ　柳川　浜大坂丁　房九　芭蕉

割盃　術物　左義長

信濃　きさらぎ　ふみ　物屋　菓子　板倉　石松　洞志

菓屋　菓屋　菓屋　菓屋　シノ

菓屋　菓屋　菓屋　菓屋　物屋

むつまじ　やはり　柳の　きつりうけ　花文

正月　一ぢ　きつりう　盃　信安寺　喜菓

割盃　割盃　きつりう　盃　同浦丁　物屋

術物　術物　きつりう　力の　たゝめ　松菓

左義長　左義長　左義長　

春雪

春水

春山

山矣

たをやめの春の雪かゝり　一具

雲間の春の雪　武蔵川　文蔵

花の雪の雪　三田　松遊

春の水　仙台　有居

春の水家ある方へ流れ　仙台　獨新

初風の何を吹　四谷市　桂法

春の水　雅嶺

高の春ふらしつゝ春の山

きゝ侍りこの春の梅ぬれる山　下谷　桂菊

春の山　柳江

春の山雲晴れ　無く

あちこちの春の山　柳川　義枝

旭さす春の山　浅草　春水

紙行

春風

霞

春雨

獨活

春風の吹ゝ入る春風

湖の春風　法立

春風の春の山　牛込　春水　松宿

春風の春の山　一

春の春の春の春の春　沙鷗

川の春の春　ヒナノ　鶴志

春の春の春の春　油丁　柳橋

春の春の春の春　蕉雨

春の春の春の春　馬込丁　春矢

春の春の春の春　浅川　富永

旭さす春の春の春　橘宿

春の春の春の春　殿景

春の春の春の春　信濃屋　四西

梅

[illegible]梅の花　立明
[illegible]梅の花　田鶴
[illegible]梅の花　為山
[illegible]雪　宗
[illegible]　丁和
[illegible]　牧葉
[illegible]梅の香　鬼城
[illegible]　牧雨
[illegible]　外カレ田　獨義
[illegible]　西久保　湖鶯
[illegible]梅　下毛原氏　牧里
[illegible]梅の花　油丁　繪葉
[illegible]梅　林丁　鶴路

柳　鶯

[illegible]柳　牧葉
[illegible]柳　清泉
[illegible]　毎ケ　豆況
[illegible]柳　下サヶ谷　一布
[illegible]柳　中ハシ　宋雨
[illegible]　東況
[illegible]　馬岩
[illegible]　東郎
[illegible]　芝平田　楽多
[illegible]　ヒサヶ谷　井況
[illegible]心の牧　吳柳
[illegible]　中ハシ　道角

蝶

うき雨に蔦の紅葉の散る新
ちりぬ〳〵流れて水に蝶の夢 今川八郎 里未
蝶羽に華やかなる姿かな 西久保 湖曉
花の中にひらひらと枝に入る力 松葉

雲雀

野の雲に見て翼の重荷哉 下サツカマ 伴九
雲の中に鳴くや雲の雲の雲 外丸四 梅義
鳴て住くるは雲の雲の雲 油丁 柳湖
羽にのせて落る雲雀哉 梅宝

春雨

門口の柳に雨の春の雨 仙タイ 梅新
水鳥の中に雨の雨の雨 梅新
春雨の雨の雨の雨の雨 岩北楽 月湖
雨の雨に雨の雨の雨の雨 松楽
雨の雨の雨の雨の雨の雨 雲の雨 梅風

朧夜

沙羅の雨に朧の雨の雨の雨 下ウ丁

花

雨降て七日雨降る雨の雨 菊
あの雨の雨の雨の雨の雨 蕉雨
雨の雨の雨の雨の雨の雨 俳堂
雨の雨の雨の雨の雨の雨 由梦
雨の雨の雨の雨の雨の雨 未自
雨の雨の雨の雨の雨の雨 松東
雨の雨の雨の雨の雨の雨 一巣
人形の雨の雨の雨の雨の雨 下サ市カヌ 伴九
雨の雨の雨の雨の雨の雨 下エキ 美宇
雨の雨の雨の雨の雨の雨 下モ下ハ京 松寿
雨の雨の雨の雨の雨の雨 武九日市 一枝
雨の雨の雨の雨の雨の雨 下云 松信

櫻

さくらやゐなくさいとせ　葉耕　海山

ゆくすゑハ菊のそのゆゑ　蓋月　下サ幼典

雲のなきさくらや　惠之　雪　言信丁　梢風

明星や櫻さめぬ心ちする　空角

見あきてそ色ゆる外ゝ山さくら　李洲

櫻ハさくや　葦　いさくら　櫻邪　宋彫

雲ゝ星ゝ峯の一本やゆる　玉清　下サ月テ

来ぬ人のゝ為ゝ　櫻うめ　信語系　凸凹

煩悩の吹りゝ出ゝ　成四年ヤ　法角

一日の名ゝ為ゝ　紗　信奥係　言巣

ゆくちりゝ夕ゝ　櫻　芝外仏　芭示

牡丹の咲や　一本の　紗　林丁　象鈴

紅梅　菫　梨　桃

紅梅を俤ゝ　葉英

紅梅や　ゆゝ　林丁　櫻遊

牡丹の露ゝ　芙山

櫻ゝ　ゆゝ　トチキ　芭蕉

夕ゝ　ゆゝ　下津系　牡望

枝ゝ　ゆゝ　西馬

梨の実ゝ　紅梅の　実

梨の実ゝ　見ゝ　義沢丁　義英

桃畑や　蕾を　見ゝ　牡竹

思ゝ　ゆゝ　石芝

粘ゝ　ゆゝ　久杜丁　蓼牡

小一里の　桃見ゝ　ゆゝ　馬の上　未丁　豆丸

屋敷の　ゆゝ　芝外仏　欽松竹

桃の実　芝外仏

躑躅　菓子

菓子　菓子

菓子　菓子

行基

[illegible]

[illegible]

[illegible]

苗代

苗代を見て考る事の爲うの神姫のおしへ也 扨苗代 田仙タイ 稗新 籾溜

苗代の事の次第 二月 方方丁 照苗

苗代や 深くふかく 水の如く

接穂

接穂 つき穂 つく穂 公の事ふ 松 丸 仙タイ 五 雲 山

見て 知 ふ 多 き ことのりらて 接 不 所、

つきこのけて見よ 家 の 接 穂 此 武五日市 一 枝

葉の 家 や 川 一 寸 ち の 雨 家 下ナアニッ 牧 休

葉の 家 や 卿 の 家 ふ 多 ち 穂 志ヒコク 山 物

葉の 家 や 葉 の 家 ゆ 寸 て 多 墨 四日市 接 田

竹 の 葉 や 村 の 西 東 三宮丁 牧 喰

出代

出代 出代や 行ら 神 ふ 物 を 燈 外カン田 燈 蓑

出代の 風 呂 蓑 寸 て 条 て 刈 カスカヘ 汁 喰 雑 蔵

馬の 都 接 て 出代る 男 この 所 て 芝 村 の 集 多

長家

出家 さ や 物 田 て 蔵る 山 の 苦 [redacted] 蔵 雑

つ て の 寸 や 水 の 上 ふ の 蓑 ふ 接 り 田 西 丁 中 士

帝

帝 や り る 方 を 竹 の 家 や 松 の 蓑 松 巣

おろ 寸 汁 ふ き 風 ふ く や 凡 中 カスカヘ 蔵 喰

別家

近 ふ 寸 ふ 川 向 ふ り い こ の 自 油 丁 柳 溜

庭 ふ る て 汁 や 寸 物 寸 て 別 家 蓑 墨

日 の 寸 て ふ 出 寸 ぬ 宮 山 牧 や 蓑 ふ 仙タイ 芝 山

結 ん て く ゆ 燈 寸 て る や 別 家 下モ 下ばた 牧 雨

茅船

蛭

雪巢

茅船のおのれ一方おもむく流このみ　宗分

茅船やもがみ川の流シナノ　烟志

うらの船や細の国をせて宗の上　林丁　秋遊

さしもさす人よ沈るれ蛭　蛭　蕉雨

蛭出て形よ学の寄蛭うれ　中八シ　茶白

乗蛭地ゆあらて流す蛭うれ　芝神田　梅国

蛭小好く蛭や蛭　蛭　芝神田　梅国

蛭の家のおうしろ　仙タイ　霧新

蛭の家のうて蛭　この蛭うて　麻布川丁　秀山

蛭出て松の好出ると　マハシ　芦物

雪の巣人よ沈る列　成田　雑麦

蛭の巣人よ沈る巣　玉川　文隠

鹿の家ゆ蛭ゆ家　信安法寺　高巣

蛭

雑子

雪雲八

蛭の蛭見て出ゆ沈みやと　蛭　右

云雪や出て出て出て出ゆ　下サヲヲ　仲　九

市人の細の下ゆ　カスカヘ　秀峯

結納を初のうて　ドチキ　茅宇

つて来て つて　芝川丁　蛭　鬼山

神物を面ゆ出る蛭うれ　西久保　湖峯

田のうて為こえて紙子の雪　能儀

出て峯や杉の沈　人シフ　坂二

屋の面蛭出て妻ふ紙子　馬法丁　義茶

雪物出て雪ゆ雪　芝出浦　布艾

雪雪八て茅末の初のうれ　関更

雪ゆ八る雪を見るうや　仙タイ　樗新

若
角蔵

在子

白奥

芭蕉
資性
杉月
天統
卓池
治法
修聚
杉風
去濤
去来
蘿塩

高安月
白月

冨士猪
祇園会
去用
出干

春嵐

一ツはく子ふ問、社ゑ出用干あ曉南
中千や京を名をを寺はろ、　南枝
梅ふ子を本ろ子ふ子ふ子ふ　梅百

暑

めを牛ゑ南ふるろや子ら行ら（エトヤシ）巣朗
樓てまを松を猶まぬ本を子風を巣ア巣皮
ひつをりや中を庵の松ふ子ろ　土郎
ゑ言ふ心　生ふ　あつを子ふ郎（エトヨ）書曉
和を子ゑ子ゑ子ゑと子ふのあつゑ（ヨミテ）笑和
草の系も皆を南を子ら行つを子な四方　松国
灯の郎を色を子あつさ子郎四平清ゑ
笑ハを子　強ふ子ふ子ふ一松　鉢ゑ衣は
雲風ふ郎ら世て雲や松すし　松巣

鉢

雲峯

郎人の子ろ子ふ子ふ　雲ゑ郎　峯　雲ゑ郎　峯　雲ゑ
料理屋郎　組板屋を　雲の峯　一　止
峯ゑ郎　郎も組ろ　雲ゑ郎みゑ（ヤ義）　樓郎
雲ゑ郎峯　郎樓郎ゑ郎ふ郎ろゑ　（エト要ホ）郎幾
ゆを子雲郎峯ふかゑ郎て峯ふゑろ　元四　針く
峯を郎く帯郎ゑや　雲ゑ郎みゑ郎大ユテ　葛郎
子ふ郎ふ　鹽郎中や　雲郎峯　四郎　巳　峯
ゑ郎子ゑを子ゑを子ゑてもゆ子ゑ郎清ゑ郎　蜘蛛
雲峯郎晴て一ト筋　言清　水　松巣
郎ゑを子ゑを子ゑ人郎峯ゑ郎清ゑ郎（信峯）言巣
言郎て牛郎郎ゑ郎ぬ郎清ゑ郎ゑ郎（ニトヲシ）巣方
一ト松くゑ郎ゑ郎を郎ゑ郎清ゑ郎ゑ郎　郎て　柳陽

涼

涼しさや孫とかたをならさんす　芭蕉

涼しさの家ら格や蓮　其角　鶯横新

涼風やら毎晩ふりあるまれ　紫仙

涼しさを蓮の葉の分れく　素白

涼しさや蓮ふうけさるる小桃竹　宿志

涼しやと思へは城一毎　下サ　市種一

涼しさや竹と思へは　エト　四ヒ市　横水

涼しさの長一面川　京橋城角

涼しさや長ふ吹寄る蚊　秋寿　沖橋家

葉ふ風ふ吹しかはは涼しの明　長戸　表

涼しさやなるるるふ　ふ　庵九

涼しさの長ふ　武川口　春雄

涼夏

夕立

晒井

日傘

涼みに行くの人や　まるる　壹志　白梅

夕立ふ降ぬ　涼　壹志　金松　涼夏

夕立ふ降りあ竹の蛾　丈林

夕立ふ晴て掃ふ庭　カスカヘ　秀晩

夕立ふ降ぬ先ある葉の中　金松　松玉

夕立の先ふ時　涼　京八シ　寂友

晒井や夕立ふ　仙蓋　芳丈

晒井に夕立ふ　中整

晒井や森ふ　エト　琴糸

いさ以ふ水　沖　琴案

杖ふ風あつふり金　逸渕

涼みに行くの人　下サ　赤種　越歌

蚤森　　蕉

蚊帳　　芭蕉

清祓　　席友

茅輪　　羽屋

ぬく手をもがけて冨くもり　今　小金　久年

ひやくと雲をふまへて蚤の森　芭蕉

蚤森しく点ちき紙一枚　紙糸　エト　ケシ　里木

蚤森の紀しして思ふ蚤の森　日明丁　紫幸

蚤森のの風ふくむ蚊帳　笠医丁　甲ノ　楽

夏一夜ねもの言さいる蚊帳　席友

うらくとも涼ふ手ん夕清祓　羽屋

白うと人点ふらふ清祓　中雪

ふくくる心て掃る茅輪　一日都里

芝の面小身ふて潜る茅輪　エト　席友

ちんひやう小掃てん茅輪　一美

ふを夏ふてふてひくる茅輪　松巣

夕点　　而居

夕点　　重賀

夕点　　松巣

夕点や夢先を紙の屋根の居

夕点や蚊ねの鳴の対つくひ　エト　カ二田

夕点や稲葉しくく海る　所

蚤点　　苔山

蚤点や蚤けて手紙一雌ねを出

蚤点や蚤ふと問へぬ涙一山　エト　書民

百日紅　　雄岩

涼山　心ふを小鼓ふを百日紅

身ふのふまふ百日紅　下サ　三ふ年

蚤けも懐ふけも世を百日紅　エト　ヌキ　芳岐

一日ふ百ふを赤ふ一百日紅　伊蕉　樗新

花　　子代居

花を科ふ心とひくきいふふ

神棚を鼓ねて心ふふ　中雪

雪汁ふ押きくまや蕨の花　俊夜　大巣

蕨花

葵

梅子

凌霄

蓮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋色

秋隣

秋待

部門を為し　田の一株　ひ（スギヤナ）　古木

秋色くるるや　古木の中より　色色

秋色うつみ　名ゐり　沈ふるる　略（エト　参考）　和色

秋色さえうや　霜　小糠　星中ハシ　朱白

秋ちくうたるや　霧ふさいつる　風　和歌　楊貴

秋色雲　雲　ひやる　白　陸山（スギヤナ）　柳城

秋ちくふる　田　毛（下毛）　下沈　杉　柏

涌　秋　涌　星　秋隣　仙蓬　寄こ

聖　人　為　為　子　秋隣　変　涌　人

星　人　為　人　涌　秋待　空　柳隣

為　う　秋　の　柏　ちみ　て　秋隣　蓬　樗　新

秋待　ち　自　秋　ひとの　明　の　月　杉　菓

古今五百題卷之二

年本尾松菓撰

文月　初秋　七夕　天の川

秋之部

文月や六日の夜　芭蕉

初秋を初ち　中　ちら（スキヤナ）　古木

立秋や露小　明　を八重　薄　久松　黄　松

七夕や　ひ　ひ　人　集る　惟柳

竹の露　あ　て　星の別　小倉　千　伯可

ちらつ　秋や　天　川　星　田川　蓼白

横町　人の　賞　多　一　天の川　夢飢

明方や　市　廣　う　一　天の川　柳川　茂　枝

立　俤　う　み　る　秋　の　天の川（下サ　フカヘ）　越　歌

天の川よりていとらむ流くつなを　雄賀

芋市

芋の市の立とるて秋ハ果ふ今り　中樽

芋の市秋中や往らふ　桶敦　蓋板　宣松

風吹ハ実ふ霧も色むや立の市　紫芳　儲

燈籠

淋しーやと灯籠ふらして振ち今り　吉武

燈籠を出て居ると唄　松巣

立り身秋を立て居ると燈籠ふ　俊　樽影

面白や灯籠みゆる寂寞　紫雪

攝待

攝待の新茶のみり　移西

攝待をとるけて仕ると小茶ふ　渡邊

攝待や入ふ世ちさ　洗なきこる　清八　黒木

攝待の つ高ふ　おーく今り　四ヶ市　芳江

物尾

輝ふ物ハ松ハ　京八　亀友

小家ふる花の上や物あらし　城月

花

さくふて居りしあ　隆義

月の風の花ちりつ　東　曉角

大

高ふて出さ人を　左門　紫華

いつ立とな一ふる　虚水

扇亜

立秋さらとる秋さ　美鈴　楽多

亦ちー　いまた秋　月花

碓

村ふ入秋ハ　蕎机

小夜きぬと冥ひ　古朗

高秋ハ秋ハ　雄ア　巣白

浪高の如く　響秋　ハ　巳幸

鳴子

[illegible]

鹿

[illegible]

虫

[illegible]

蟋蟀

[illegible]

蘭　不卜

菊

蝶

蜻蛉

秋蝶

鶯

鳳

鶴

鶯

西瓜　芝　萩　早稲

西瓜

西山の樓の西瓜　畑の八月　山水

芝

芝の青のうへの花　同人

萩

萩の葉のうへの露　松花

早稲

早稲の穂の二種　梅志

稲妻　露

稲妻や雷の鼓の五位の琴　芭蕉

稲妻を足で引よせる枕元　松什

いなづまや風をまねむる戦場　雪巣

稲妻をハ〜くみゆる河原哉　松百

いなづまや二筋三筋湖の中　塚月

稲妻や栗崎の大巴橋哉　雪四郎

稲妻や四海海をうつの声　志ナノ宮

夕と物哀なるや露時雨　雪樵

物露や門の細火哀煙生　松巣

物露を禁ず畑哀ハ　こるぶ　法紀丁

切哀稲の行ゆく秋　清て

稲の露ちるを果ぬ今宵　信小市

秋暑　蓼　松

秋風　黄　山

二百十日

留春紅むつ〻ら〻ら蓼の穂
ふるさとの蓼見すまる秋暑哉　黄山
蓼さゝ紅松ふのうら葉この実　芝蘭　秋暑
ふつけて砂ふむ秋の暑この小仙蓼　樗　影
秋風ふ笠ふ折ふ笠ふのうら　蓼の白
秋風の吹けとゝ桔ぬ少松ゝの根　一茶
ふふ雲ぬ蓼まくはを秋の風　一具
漣やこの木ゝりふ秋ふこゝ色カナヘキ　霊素
秋風や釈ふ併をふ此の鳥　分子　雪晩
うゝらぬや二百十日の日つゝ　去路
楽ーーさや二百十日ふ霧　医ア　麦峡
てうふくゝのつゝる二百十日ふ風下サ　方逸一　市

蕣　桔梗　萩

蕣くゝと蕣ふ咲く垣根の朝　古朗
朝ふ色やふふふ夢　橋雀
朝色やあらまき海を垣　卓池
蕣や情ふ桔ふ色ふ　ヱト　池町　柳翠
朝ふ色や一帰情ふ四ふ星　半北楽　菓城
きちゝくゝとふ桔梗の桔梗　蓑村
ちゝくゝと答ふ八ふ桔梗　ムラ　如以
咲ふふふふふ桔梗のふふ　外カ田　琴二朗
白露ふふふ萩ふ　芭蕉
折折ふふふふ萩ふ　而石
秀萩や流ふ萩ふ　四市　樗魚
白萩ふ咲ふ折ふ一　重　姫　蓋丁　渡

一葉　清風　松葉

大ふなる花の小梅　雪巣　源川

稚子の手の水　城月　芭蕉

木槿　木槿　芭蕉　木槿　芭蕉

一つ　古朔

蘆花　蘆花　芭蕉

零餘子

いかや　流れ　一日　松雪　仙嶺　芭蕉

八月　中旬　蕉翁

八さかや　夕　月　中旬　蕉翁

秋雪や　月の　秋雪　秋雪　秋雪

秋雪や　稽乃　川の　秋雪　秋雪　秋雪

秋雪　秋雪　秋雪　秋雪　秋雪

秋雪　秋雪　秋雪　秋雪　秋雪

秋雪　秋雪

蔭引
[illegible]
[illegible]
[illegible]

紅葉

鹿

鶏頭

秋の夕

うつろはぬ常盤の松の梢にも
あらぬ紅葉の秋は来にけり　信濃守　藤原
千代までの色を重ねて神垣の
松の梢にかけて染てり　信濃守　源
かけ樹や夕日の照く蔦紅葉　下ケ不詳　藤原
人知れぬ物思ふ秋の夕暮
鹿の鳴くなる声の聞ゆる　藤原
鶏頭や茶碗に水の溜る時　高山
鶏頭や茶碗に水の溜る時　和泉守
鶏頭や秋の蓋　巻ノ六　素堂
鶏頭や秋の夕　巣居
つとめて小雨降りすぎぬ秋の蓋　仙素　樗彩

梅

雪

梅の花の匂ひ深の秋　信濃守　凸
匂ひ深の秋にして梅の花　三条院
梅の花一つ咲ける日　巻ノ六　東湯
雪の色にまがふ梅の花　百首ノ内　杉曙
雪の白かと見ゆる梅の花　仙タイ一　雄
梅の花咲けるを見ば　文屋
雪の白かと見ゆる梅の花　八分市場　杉柳
梅の花咲くと見ば　芙蓉枝　杉自
雪の降る梅の花　謝蕪
雪ふれば梅の花　女房　信濃守　大原
雪ふれば梅の花　女房　紀カシタ　川右樹
雪の中にあらぬ梅の花　女房　紀柳　木義宇

聖菓　宗鄰

蕎麦花　仙タイ

夢殊沙　林丁

栗　小舟丁

[illegible]　武蔵川　文賀

[illegible]　彩大夢　房況

[illegible]　仙タイ　樗新

[illegible]　林丁　桃梅

[illegible]　八百市場　雷雄

[illegible]　小舟　久年

[illegible]　一異

[illegible]　小舟丁　文賀

[illegible]　信濃川　梅風

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　栗　林丁　桃巷

秋の雲　下ヤヒヒュ　杉休

秋の雨　武蔵川　一考

秋の川　仙　樗新

初汐　カン田　春二

初夕　シハ林ノ舌　楽多

三日月　[illegible]

名月　[illegible]　玉　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

身

[illegible]　今日の身　　[illegible]

[illegible]　[illegible]　　杉菜

[illegible]　[illegible]　水府一菜

[illegible]　の雲　[illegible]　揚雲

[illegible]　[illegible]　信安湾　言菜

[illegible]　[illegible]　日本橋　鶴古

小[illegible]　[illegible]　油町　柳濤

[illegible]　[illegible]　仙台　樗新

いつくもかく[illegible]　[illegible]　波の月　[illegible]

[illegible]　[illegible]　中八シ　東角

[illegible]　[illegible]　今月八シ　里本

[illegible]　[illegible]　一ロ市　花月

菜

白菜の上ゝ[illegible]　今日の恢う　　松菜

菜[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　已幸

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

折[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　

白きをかぬる色をそへて春のきたるを知る人なしの歌 柳枝

春のきたるを常なれぬる白の篇 竹 龍栄

有ふるをしきく咲て今の山の所 柘本 若宇

末枯や野もせ一面に白き花 薩摩川 柳舟

末枯や春ふる雨に白き花 酒丁 松雪

末枯や雁も霜に白き花 蓬城 若浦

秋の竹や波の音をそへて末枯る 芝浦 秀和井

末枯や数珠つまぐる人の姿 西丁 篇泉

霜枯や鶴の姿 下井 芙蓉 紅

白雲に月かたぶく霜枯の色 浅草 柳枝

きりぎりす鳴きそめぬる霜枯の色 浅草 柳志

汁の味も深山出来る霜枯の色 秀暁

渡雁

清き流れひろき海の渡人多く渡の雁 金川 里木

春山の霞をこめて渡の雁 南園 暁角

さ月雨の水かさ増て渡の雁 本丁 重丸

人中を出て渡の雁 西整

雲ふかく来て外に市の雁 大侯 大栄

月新に鳴て見ぬ市の雁 竹橋 房丸

新蕎麦

新蕎麦や信濃の白金川 金川 里木

新そばや我家の宮ぶり 本丁 松白

新蕎麦や稜の霜の義 後地丁 宋秋

新酒

松風に新酒をさます山路の子 支考

樽本や稜休めて新酒の香 長丁 蓋角

濁酒

糸蕎の煮をあるや濁り酒 ホ五丁 如石

柿　松葉

菌　木の実

柿の木にかくれてとまりけり　松葉

葉は色々秋の紅葉や柿一つ小坂に残る可

淋柿の淋しき庭の池のきし四十雀　雪窓

熟すの柿を寒や　紅葉　清水

淋やく熟柿の紅や白粉の月　紅葉　梅翁

淋柿の年々毒も老木　紅葉　梅翁

思ふ木かくれて　蘭籠　深川　泉池

木の実の稲干　木の実　梅雪

山の名も呼や鶏　籠の菌　竹三　田舞　趣

美味の味を奥有　木の実　梅雪　老山

乃庭の菌　山西　白梅

善性　樹を性の　伝中　寒笑

庭の月　菌之

尾越　柿

芭蕉

庭の月　菌之

庭の月　庭仙　梅新

庭の月　庭仙　梅新

人新　人平　清水

庭の月　庭仙　梅雪　菌

一下　芭蕉　中尾越　庭の月　庭仙　梅雪　二

芭蕉　尾越　庭の月　中　夕日　和雪　雪菌

蹴　芭蕉　梅雪　梅雪　梅美

菌　梅雪　梅雪　梅雪　梅美

菌　梅雪　梅雪　梅雪　梅美

菌　梅雪

菅の葉
蟬の聲
夏燈
夏匠
秋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梁

初雪

夢さめて枕をたれば時雨こゝの声　下サ　かも　蕉白
吹ちらす松の梢の雲ぬけて　弥田　春二
高きをたゞり田を横きれば一面　下サ　金川　巣象
雪しろ　弥田　春民
波の音ばかり聞て時雨　南正　知義助
山のしら雪ちりかゝる　松什
梅や夜ふけて花ちる　下サ　ブヒコ　橘巣
夕ぬれ　伊豆　島田　弘舟
梁の吹ぬし寄る雪の新
初雪や雲ちり降て夜庭　■　椿堂
ちつ雪ぬき物の袖ぬれ　仙素　樗新
初雪ちらつく松の小雨うれ　弓静

初冬

初冬や二ツ子の笑ひ聞ける　磯堂
ちつ雪ちり雪の庭の雪　松　下サ　金川　都和
初冬や中四毎の水ぬるゝ　真和
庭ちる余波の雪ぬき水　雄廣
初氷　永溪
初氷ぬるゝ音ぬる　野猪
波ぬるる蓮を去る中初氷　文人
霜

霜ちつ　弘舟
霜ちつ橋や去る点四の霜　寺池
野鳥の羽ぬき時　同庭
霜深き野や　日野丁　和多理
蓼の花　鉄砂丁　米秋
蓼の花ちり市り門の霜　油丁　巣鹿
雪山の霜　郡　下サ　フカマ　花遊

柳　　阿波　巳章
芽さしそめし柳の糸の春風に
柳　　柳川　義枝
柳ぬきみだるる春の柳かな

柳花　　大坂丁　唐丸
この春の川の水ぬるみ柳花
柳　　信濃川　昇山
柳ちる人のなげきやなきぬ

柳色　　カンタ　恵吉
この春の柳色柳門柳
　　スン　菜畑　古鶯
きりこめる柳色柳きりの門

柳陰　　本丁　豆丸
柳陰ちりのこりの花ちる
　　信濃坂　栄山
あらくも有るかな柳花

柳花　　信濃坂　栄山
柳花柳花柳花柳花
　　士朗
柳花を見ぬ年ぬ年の柳

　　高栄
ぬ年ぬ年の春の柳花

　　正義

落葉

落葉
落葉ちる門の落葉
　　芝神明　松栄
落葉ちる門の落葉
　　信福原　高弓
落葉ちる門の落葉
　　林丁　桃迷
落葉ちる門の落葉
　　豆腐屋　迷風
落葉ちる門の落葉
　　日本橋　舎
落葉ちる門の落葉
　　巴就
落葉ちる門の落葉
　　林丁　柳常
落葉ちる門の落葉
　　山伏町　伯可
落葉ちる門の落葉
　　蔦
落葉ちる門の落葉
　　桃
落葉ちる門の落葉
　　迷

末の葉

[illegible]

帰花

[illegible] 共[illegible]お 梅 [illegible] 日朋丁 [illegible] 幸

[illegible] 梅丁 柳 [illegible]

[illegible] 梅 [illegible]

[illegible] 葉 [illegible]

[illegible] 梅 枝

[illegible] 一

水仙

[illegible] 下サ ヲカマ [illegible]

[illegible] 一 [illegible]

水仙 [illegible] 号 山

[illegible] 冨沢丁 [illegible]

[illegible] 三田 [illegible] 今川バシ [illegible]

[illegible] 中ハシ [illegible]

[illegible] 豆島田 [illegible]

[illegible] 杉木 [illegible]

[illegible] 中ハシ [illegible]

[illegible] 土 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

小六月

小春

山茶花

蓼子鳴

[illegible]の[illegible]の[illegible]小六月　一布
[illegible]川[illegible]山[illegible]　下サフカマ　法山　蓮耕
[illegible]小春の[illegible]　蕉雨
[illegible]の[illegible]小[illegible]の[illegible]　分カニ田　楊善
[illegible]中小春[illegible]の山の[illegible]　西久保　湖琴
蓼の[illegible]小春[illegible]の[illegible]　下サアヒコ　泉池
[illegible]の[illegible]小[illegible]　楼園
[illegible]の中[illegible]小春[illegible]の[illegible]　信福寺　四凸
[illegible]の[illegible]中[illegible]小春出　スルカ　芝家
山茶花中[illegible]方[illegible]　雨后
山茶花の[illegible]和[illegible]水[illegible]　武蔵川　文楼
[illegible]末の蓼[illegible]　月明丁　楊善

ちとり

鴨

[illegible]中[illegible]の[illegible]　[illegible]
[illegible]日の[illegible]　芝弟ウ　楊国
蓼[illegible]の[illegible]　下サアヒコ　松林
[illegible]　[illegible]田　松林
[illegible]　[illegible]　郷　楊丁　未彦
[illegible]　川サキ　湖水
[illegible]　一巣
[illegible]　[illegible]　二
[illegible]　[illegible]　吳服丁　蕉蛇
[illegible]の[illegible]　[illegible]丁　松[illegible]
[illegible]　[illegible]　久松丁　蓼松
[illegible]の[illegible]　常栄　楊[illegible]

寒

河豚　芭蕉

冬鶯　油丁

冬籠　柳葉

杉葉を樺にて手樹あるを家うの形
吉野をまけて切結つるもの　三十ノ　胡志
樹の花のとまる　豆腐屋　直溪
あるを和をつるもの　芋油丁　梅月
飯樽にこもる　鶯の初　杉葉
結の中に梅　邑野の郷　立川　宝月
家りの形なるもの　飯の友　下サ小金　久年
老の昭のもの　冬の梶　杉葉
冬の梶を結つる　芋山　長谷川　芝仲乃　影和井
冬籠にて　鶯の当主　蕉雨
言下を毎の注　信条村一　柳
畑まるこの形　迎市　子　乗

千寿　蕉雨

長屋の中に一十和の侍いのこ

自鶴の言一十和の郭　信太侯　大葉

大根引　芋乗

芋をのりこの一下屋のこ　油丁　乗老

蕪園　芋乗

長樽に初人の生　大根の形　油丁　柳園

樽に夢を置く結つる　梅園

ちつ結ちを自中　蕪園の風　里本

冬の花　杉葉

植望　源

冬のるものの家　植望の家

中つ日結花　芋仁　芝仲乃　柳雨

杉根の毛の千ちう　菓の月　月明丁　乗幸

千菜

杜鵑花

冬牡丹

冬梅

枯薄

綱代木

信濃なる千駄の木馬はなつかや杜鵑の音　芭蕉

山ぶきの一本の杜鵑のなくなる時　下元　下学　杉望

春ふかしなくなる杜鵑の花　下学　東東

ねはしの山へ入りぬる音　信　琴川一孝

冬牡丹　貴古

冬梅　雪山

枯薄　冬東

綱代木　加士

一編ずつ見る冬ふかしの形

散るこの春ふかしの冬の牡丹郎

蕾る冬梅の冬なりの梅　下サ　アヒコ

咲はうふかしなりて冬の梅　杉嶋

薄の面の枯ぬる形　下モ　下学　杉雨

出つるのさを猶綱代木　文学

なりなるまふかし一夜ばかり　宝　泉川　菊家

雪

降ふるいてなりなるかや雪の門　玄来

掃きそんてなりる雪さしかや雪の橋　東泥

なりてつのあ戸庭の雪ふる雪　雪

雪ふる雪かや雪のふるの雪　弁田　雪山

雪ふる雪ふるの雪ふる雪　カスカヘ　秀嶺

雪ふりふり　梯の雪かれふかや　仙タイ　梯新

松の雪かや雪の降ふる雪　四日市　梅園

梯ふるあの新端へふる　アヒコ　金木

黄の雪ふふ雪のつふる　金川八二　里末

ふふふふふふ雪ふる雪ふる　竹子

雪雪かや雪のふふふふ　油丁　松嶋

梯の人梯ふる雪　千住田　崇川

雪の新

雪吹

霙

雪車

雪一トロ　日向丁一首

雪の降ぬ八朝の雪の降　中八シ　赤西

雪の降ぬ夕の雪丸け　三田　松越

雪吹の雪吹の雪吹の雪　赤丁　豆丸

白雪の雪吹の雪吹の雪　野大坂丁　前丸

霙の霙の霙の霙の霙　富沢丁　赤笠

霙の霙の霙の霙の霙　長津　三ツ

霙の霙の霙の霙の霙　芝神明　桑多

雪の雪の雪の雪の雪　八　巳幸

雪の雪の雪の雪の雪　小川新の壱ツ　雅嶺

雪の雪の雪の雪の雪　小舟丁　三ツ

雪の雪の雪の雪の雪　一首

頭巾

戰

湯婆

磨粉

力士

頭巾の頭巾の頭巾の頭巾　芝神明　梅月

頭巾の頭巾の頭巾の頭巾　四谷塩町　野和井

戰の戰の戰の戰の戰　日向丁　堂幸

湯婆の湯婆の湯婆の湯婆　仙台　石丸

湯婆の湯婆の湯婆の湯婆　柳川　義枝

湯婆の湯婆の湯婆の湯婆　芝岐

湯婆の湯婆の湯婆の湯婆　方丸

湯婆の湯婆の湯婆の湯婆　嘯壺

磨粉の磨粉の磨粉の磨粉　日向丁　梅義

磨粉の磨粉の磨粉の磨粉　芝丁　雅子

磨粉の磨粉の磨粉の磨粉　力士　以見

磨粉の磨粉の磨粉の磨粉　力士　信濃坂　言葉

水雪　水雪の沢をくくり見えて浮かれ
　　ふるる中に清きその雪古方
　　仲の末に雪の中に咲かれ
暖雪　暖雪　松葉
　　松の葉に雪の降るあり
　　暖雪　同細丁　松葉理
鰍鯨　鰍鯨中に里に捕り　孫庭
　　あんきの後ものあり
　　下魚に見えて美和の雪　信山　菓耕
唐黄　唐黄　田丁　信泉
　　年寄の後に四方に唐黄
　　四人来て四方へ分れ　志仙
黄粘　黄粘　油丁　松嶺
　　黄粘中に水の中に川の
　　黄粘中に　アヒコ　橘菓
　　黄粘中に　松菓
　　黄粘　信　アヒコ　松林

降出んて和書の宮中に
　　笠の宮の中に
　　後の宮の中に
　　一枝ひらく妹文
　　四つ五つの所の
　　宮の宮の宮に
　　納めて文の枝
　　和神中に
　　夜神中に
　　人中の内の文
　　面に宮に
　　中に

玉杯　玉杯
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯

黄粘　名粘ケ　鉄城ケ　紫　紫
　　蓬粘
　　常小宗　蕎水
　　耕玉
　　一ハ八シ　一長
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯
　　玉杯

神楽　神楽
　　神楽
　　神楽
　　神楽
　　神楽
　　神楽
　　神楽
　　神楽
　　神楽
　　神楽

空中長　空中長
　　空中長
　　空中長
　　空中長
　　空中長
　　空中長
　　空中長
　　空中長
　　空中長
　　空中長

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

師走

寒念仏

寒参

山寺の中に入る日や雪の山（中入レ）　東雨

年毎に師走の寒参懐手（カシ四）　松緑

つまづきて師走の出るよう　意雨

人ゝ朝まゐる師走の寒参（雨シマ）　イスケ

帰りうるわ師走のひまれる（美升内）　楽多

師走私寒参ちん寒念仏　由誓

帰ゝ家の門ゝる寒念仏（下毛　下野系）　松里

ゝ寒ゝ寒ゝ寒ゝ中や寒念仏ゝ　松雨

寒ゝ寒の尊ゝ寒ゝ寒念仏（元浅町）　三子雄

寒参わ中人ゝまるひとりつる　意白

寒参や風ゝ雨ゝ寒参しき（下サ　フカマ）　越歌

寒参わ七ゝ筋町ゝ寒ゝ（浅川）　菊郎

節季

俳

蝙蝠

餅搗

節季ゝ寒ゝ寒ゝ寒ゝ中に寒ゝ（宮沢丁）　義英

節季の寒ゝ寒ゝ寒ゝ寒ゝ（坂倉）　石紅

節季ゝ寒ゝ寒ゝ寒ゝ寒ゝ（ヲ宮丁）　松巣

節季ゝ寒ゝ寒ゝ寒ゝ寒ゝ夕ゝの形　梯風

節季俳の俳ゝ俳ゝ俳ゝ（仙台）　東溪

節季ゝの寒ゝ寒ゝ寒ゝ寒ゝ（下サ　アヒコ）　東池

節季俳ゝ俳ゝ俳ゝ俳ゝ俳ゝ焼ゝ　為雨

蝙蝠わ何ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ　文岩

蝙蝠ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ（カスカ）　汀曉

蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ（ヒ杜町）　芸松

蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ蝙ゝ　芭蕉

餅つきわ餅ゝ餅ゝ餅ゝ餅ゝ餅ゝ餅ゝ餅ゝ餅ゝ（浦山）　巣耕

[illegible] 柳水 [illegible]
[illegible] 信濃 [illegible]
[illegible] 已幸
[illegible] 寛保 [illegible]
[illegible] 信濃 四 凸
[illegible] 蓍 [illegible]
[illegible] 寛保 [illegible]

所年

雜候部

隙夜

大時の

まくらの上に　和泉の書　号小白　燈

ひとりのあさり　ひとり山家の形　士朝

ゆくへ知らぬ　仙タイ　燈彩

ひとりわ寒の　ひとり　名杉丁　燈

きのふ立ちふる立ち　武蔵川　文燈

世をてくちの　鼻て同利の　ことの形　鬼貫

ふくとしの　京の縫師　難候部　与倍丁　杉晩

ふくとしの　きく　ひとりわ　隙夜の雲　物宝

隙夜　ひとりわ　門燈　ひとりふ茶ふ　外ヨ之田　燈義

下ちきり　ひとりわ　隙夜の縫の雲　山舟丁　杉

ひとりふ　ひとりふ　大時　日　仙タイ　燈彩

ひとりわ　ひとりわ　大年日　秀晩